

三権分立

名前 _____

_____ 月 _____ 日

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

国の権力を三つに分けると、どんな良いことがあるのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 三権分立のしくみ

三つの権力

④ 国の権力を三つに分けるしくみ。

一つの機関に権力が集まると、国民の自由が侵されるおそれがある。そこで、国の権力を
① _____ ・ ② _____ ・ ③ _____ の三つに分け、それぞれ別の機関にもたせるしくみが
とられている。これを ④ _____ という。18世紀のフランスの思想家 ⑤ _____

① 法律をつくる権限。国会がもつ。

⑤ 『法の精神』で三権分立を唱えたフランスの思想家。

が、著書『法の精神』で唱えた考えである。

日本国憲法では、立法権は ⑥ _____、行政権は ⑦ _____、司法権は ⑧ _____ がもつ。

国会は法律をつくり、内閣は法律にもとづいて政治を行い、裁判所は法律にもとづいて争いを裁く。三つの機関が仕事を分け、たがいに見はることで、権力の行きすぎをふせぎ、国民の自由と権利を守っている。もし三つの権力が一人や一つの機関に集まると、独裁になりやすい。歴史上、国王が権力を独占した時代への反省から生まれた考えでもある。

機関	もつ権力	主な仕事
国会	立法権	法律をつくる
内閣	行政権	法律にもとづいて政治を行う
裁判所	司法権	法律にもとづいて争いを裁く

2 抑制と均衡・違憲審査権

たがいに抑制

⑨ 三つの機関がたがいに権力をおさえ合うこと。

三つの機関は、仕事を分けるだけでなく、たがいに権力をおさえ合って、つり合いを保っている。これを ⑨ _____ (チェック・アンド・バランス)という。たとえば衆議院は

⑫ 法律などが憲法に反しないかを調べる権限。

⑩ _____ の決議で内閣に、国会は弾劾裁判で裁判官に、それぞれ働きかけられる。内閣は衆議院の ⑪ _____ を決められ、最高裁判所長官を指名できる。

⑭ 違憲審査の最終判断をする最高裁判所のこと。

裁判所は、国会がつくった法律や、内閣の出す命令・処分が憲法に違反していないかを審査できる。これを ⑫ _____ (法令審査権)といい、すべての裁判所がもつ。最終的な判断をする最高裁判所は ⑬ _____ であり、⑭ _____ とよばれる。国民も、選挙や国民審査、世論によって三つの機関を見はっている。

できた / 14

